

研究機関で雇用する特別研究員-PD等の育成方針

ソニーコンピュータサイエンス研究所（ソニーCSL）について

ソニーCSLは、新たな研究領域や研究パラダイム、新技術や新事業の創出を通して、人類・社会に貢献することを目的として設立されました。研究者の自由意思を尊重し、創造性と創意工夫を駆使した研究活動を通じて、より良い未来を創り出すことに注力しています。

各研究員が研究を実施するにあたり、研究テーマをあらかじめ会社から指定するのではなく、研究員自身が自由にテーマを考え、独自の視点で探求を進めることを推奨しています。多様な研究領域・バックグラウンドをもつ研究員が「越境し、行動する」(Act Beyond Borders)という行動原理のもと、国や研究分野、さらには研究・事業の境界を超越し、未来社会の実現に関わる問題の解決のため、能動的に行動し、世の中に貢献することを目指しています。

特別研究員-PD等の育成方針について

特別研究員の育成方針ならびに受入にあたっての各種制度に関しては以下のとおりです。

- ・特別研究員が自由な発想に基づき、研究に専念できる環境を提供するとともに、受入研究員のメンタリングにより、特別研究員の主体的な研究活動をサポートし、今後のキャリアに関するアドバイスを提供します。

- ・所属する多様な研究領域・活動を行う研究員との交流機会の創出や、国内外の学会での活躍の支援などを通じて、研究成果を社会に還元できる研究者の育成を目指します。

- ・特別研究員の受入においては、ソニーCSLは社会保険への加入も含める形で特別研究員として雇用するとともに、オフィス内の各種共用機器・設備の整備・充実を図り、研究環境を整えます。

- ・妊娠、出産、育児、介護、病気の治療をはじめとした様々なライフイベントとの両立支援制度「Symphony Plan」に基づき、産前産後休業、育児休業のほか、柔軟な働き方の為のフレキシブルワーク制度や子育て支援制度、年次有給休暇の時間使用等の諸制度の活用が可能であり、安心して研究活動に従事することを可能にします。

これらの取り組みを通じて、特別研究員の研究スキルと専門性の向上、多様な視点の獲得を支援し、今後の研究員としてのキャリア形成のみならず、次世代を担う人として成長するための支援を提供します。